

優しい言葉の花束を

一か月ほど前ですが、近くに住む方からお電話をいただきました。電話をくださった方のお子さんが雨の中で傘が壊れて、ずぶ濡れで困っていたところ、本校3年生の男子が「大丈夫？」と優しく声をかけて助けてくれたそうです。困っている子のお家まで連れて行ってあげたそうで、とても優しくしてもらったとご丁寧にお礼のお電話をくださいました。

この話のように、困っている人に手を差し伸べられる人を尊敬します。助けたいと思っても、状況などによって躊躇してしまう人も多いのではないかと思います。だからこそ、行動に起こす勇氣に胸があたたかくなりました。

さて、上記の話を受けてこの数ヶ月を振り返ると、3年生になって皆さんが少し大人に近づいたと思う場面が増えてきたように思います。例えば、大変そうな人をさりげなく手伝う姿や、体調を慮って「大丈夫ですか？忙しそうで心配です…お大事にしてください。」と声をかけてくれたりするなど、ちょっとしたことですが、小さな思いやりが素直にうれしいこの頃です。また、何かをお願いしたり聞いたりするときにも「すみません。私の方法が間違っていたのかもしれないのですが、もう一度教えてもらえますか。」と大人の対応が。ワンクッション置いた言い方をすると、相手が快く思ってくれることが多いです。

一方で、言い方によっては誤解を招いたり人を不快にしたりすることもあります。この一年間は、進路や勉強と向き合うことでイライラしたり不安になったり、感情のコントロールが難しくなるかもしれません。しかし、そういったときこそ6秒くらい間をあけて（アンガーマネージメントです。）落ち着いてから行動しましょう。イライラをぶつけるか、優しさで接するか。もしどちらかを選択するならば、優しい言葉を相手にあげた方がいいと思いませんか？

限界突破！日記 ラスト 体育行事委員長 C組

～運動会は終わったけど、日々Over The TOP～

運動会お疲れ様でした。競技だけでなく、応援やひばりランなど全てを全力で取り組み、最高学年として素晴らしい運動会だったと思います。

運動会で培った団結力を日々の生活に生かし、2・3学期の行事も頑張りましょう。

後輩からのメッセージ

- すばらしいソーラン節を見せてくれてありがとうございました。3年生の踊っている姿を見て、すごく練習してきたことが伝わってきました。私も3年生を超えられるように頑張ろうと思いました。
- 学年種目では面白い掛け声があったり、リレーには手に汗握るような接戦、そして何よりソーラン節は、どの種目よりもすごく圧倒的なパフォーマンスでした。素敵な運動会をありがとうございました。
- 3年生がまとまったソーラン節がかっこよかったです。みんなそろっていたからすごかった。
- ソーラン節がとてもおもしろかったし、全力で踊っていてかっこよかったです。

皆さんの思いが後輩に届いていて、胸が熱くなりました…！

学年の先生のつぶやき

～今週は藤井先生より～

先日娘のランドセルを見に行きました。赤、紫、水色、ピンク...色とりどりのランドセルに胸を弾ませ次々と試す娘に、私は内心、高学年になった時にこの色だと可愛すぎるのでは...とハラハラしていました。娘が選んだ色はピンク。やはりか...とちょっと渋る私。(普段はピンク色も好きです。しかし、個人的には長く使うランドセルだからと、つい先を考えてしまう私...そしてさりげなく他の色も勧めてしまう私...)ですが、そんなときある動画に出会いました。ランドセルを製作販売している会社の動画で、何人かの子どもが1人でお店に入り、ランドセルを選んでいきます。その姿を別室でモニター越しにご両親が見ているのですが、水色、茶色と我が子が選ぶ様子を見て納得気に頷いたり、「傷が目立たない色なら...」「明るい色でなければ」「やっぱりその色か」と言うご両親。しかし、そこで一枚の紙を渡されます。

"子ども達には、おうちの人が選んでももらいたいと思うだろうものを選んでくださいと言いました"

驚くご両親を前に、子ども達に次の指示が出ました。"今度は自分の選びたい色を選んでください"嬉々として選ぶ子ども達。先程とは違う色を選んでいて、親御さんは「すごく嬉しそう」「この色が好きだったのか」と、しみじみと眺めていました。動画の締めくくりはこうでした。

それは6年間大切に使う最初の一步 キミが好きなの キミが選ぼう

これを見て、私も知らぬ間に、先回りして失敗しないようにと価値観を押し付けていたかもしれないと猛省...。ピンクのランドセルを背負って誇らしげにしている娘を見て、自分で何かを決めるというのは、大きな喜びなのだと改めて実感しました。様々な色と一緒に見て考えや感想を話して、最終的に本人が選べばいいと思えました。

皆さんも進路を選択する時期になりました。自分の人生を自分で選んでいくということは、責任がついてきます。もしかすると思いついて描いていたものと違うことも出てくるかもしれませんが、人を責めることはできません。しかし、その分何かを得たときや充実したときの喜びも大きいはず。ちなみに最後は自分で決める進路ですが、それは独りよがりになれと言っているわけではありません。

私は親になって5年そこらの未熟な母ですが、皆さんのおうちの方は皆さんを立派にここまで育てられているのです。時にぶつかることもあるかもしれませんが、アドバイスをくれる身近な経験者であり、最大の味方です。おうちの方とじっくり話し、進学させてもらおうという感謝の気持ちを忘れず、キミの好きな道をキミが選ぼう！

<来週の予定>

日	曜	給食	1	2	3	4	5	6	学校行事等
19	月	○	道	○	○	○	○	—	生徒朝会 試験一週間前
20	火	○	○	○	○	○	○	○	
21	水	○	○	○	○	○	総	—	研修会
22	木	○	○	○	○	○	○	学	
23	金	○	○	○	○	○	○	総	

6/ 19 (月) 生徒朝会⇒ミートで行います。

①道徳 「スマホに夢中！」を読んで、心身の健康と望ましい生活習慣との関わりを理解し、安全で調和のある生活について考えます。

6/ 21 (水) ⑤総合 修学旅行のまとめ集会

6/ 22 (木) ⑥学活 合唱祭 自由曲曲決め 第1希望～第5希望を決めます。

6/ 15 (木) ⑥総合 進路学習(進路説明会の冊子を使います。)

高校の先生の話聞く会 質問集約